

台湾タケクマバチ

2006年に国内への侵入が初めて確認さ

れた外来生物のクマバチで、分布域が拡大
しています。

2022年、県内において、穴が空いた枯れた

竹の中にいた個体が確認されました。

形態

- 翅は褐色で、脚に黒色の毛が密にはえ
ています。
- 雄は、背面に黄色の毛がはえており、
頭部に黄色の模様があります。
- 雌は頭部、胸部、腹部が黒色です。



台湾タケクマバチ（成虫）

体長：約20.0mm

写真上段：側面（左：雄、右：雌）

写真下段：頭部（左：雄、右：雌）

生息環境

枯れた竹に直径約20～25mmの

穴を開け、巣をつくります。



竹をかじる雌成虫

本種の分布拡大による影響

- 在来クマバチ（キムネクマバチ）への本種寄生ダニの寄生

- 竹製品の品質の劣化
- 竹柵などの利用者への刺傷

攻撃的な性格ではありませんが、針を持っていますので、刺されることがあります。竹材や竹製品を使用する時は、穴が空いていないか注意をしましょう。

参考資料

1. 国立研究開発法人国立環境研究所：侵入生物データベース タイワンタケクマバチ
2. 愛知県：愛知県で対策が必要な外来種30 タイワンタケクマバチ
3. 武豊町：外来種「タイワンタケクマバチ」